



Press Information

VPR21-042

2021年9月16日(木)

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社

フォルクスワーゲン グループ ジャパン代表取締役社長交代のお知らせ

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社(本社:愛知県 豊橋市、略称:VGJ)は、代表取締役社長 兼 最高経営責任者(CEO)であるティル シェア(Till Scheer, 55)が、本年9月30日付けで現在の契約を終了し、10月中旬にアウディ フォルクスワーゲン コリアのグループ マネージングダイレクターに就任する人事が決定しましたのでお知らせいたします。後任には、本年9月1日にアウディ ジャパン株式会社 代表取締役社長に就任したマティアス シェーパース(Matthias Schepers, 45)が就任し、10月1日よりフォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社の代表取締役社長 兼 最高経営責任者(CEO)を兼務いたします。

シェーパースが両社のポストを兼務する人事は、日本におけるフォルクスワーゲン、アウディ、ベントレー、そしてランボルギーニ ブランドを近い将来、世界各国のグループ販売法人同様に、各ブランドの専任のマネジメントに率いられながら、一つのグループ販売法人の下に再編する計画をその背景としています。詳細につきまして追ってご案内いたします。

ティル シェアは2016年3月にVGJの社長に就任。5年7か月に及ぶ在任中に「Road to 2020」という中期戦略を定め、「People's Car Brand」としてお客様に一層寄り添うことで、顧客満足度向上に取り組みました。2018年に導入を開始したクリーンディーゼルモデルを市場に定着させ、その後はSUV攻勢と銘打ちスモール及びコンパクトサイズのSUVを拡販させ、お客様の選択肢を広げました。その結果、2020年、日本のフォルクスワーゲン販売台数におけるSUVシェアは42%にも上りました。また、同年、正規販売店ネットワークと新たな販売契約を締結することで、未来のモビリティを展開する土を整えました。今年は、春より過去最多となるモデルを市場投入する製品攻勢を仕掛け、今後のPHEVやEVによる更なる電動化に繋ぐための、初めてのマイルドハイブリッド式「ゴルフ」も投入しました。

